

令和7年度卒後臨床研修医募集要項



募集要項

- ◎募集人員 11名（基幹型）
当院では、上記「基幹型臨床研修医の募集以外に、金沢大学附属病院
および富山大学附属病院、金沢医科大学病院の中核協力研修病院として
若干名の研修医受入れ予定です。
- ◎応募資格 ・令和6年度医師国家試験を受験する者
・マッチングプログラムに参加する者
- ◎選考方法 書類審査および面接試験
- ◎試験実施日時 令和6年8月14日（水）、8月16日（金）
8月21日（水）、8月23日（金）
午後13時00分～午後17時00分を予定しています。
- ◎試験実施場所 厚生連高岡病院
（北陸地方以外の方は、Web面接も考慮します。適宜、ご相談下さい）
- ◎出願期間 令和6年7月1日（月）～令和6年7月31日（水）
- ◎出願書類 ①臨床研修申請書（当院指定）
②履歴書（当院指定）
③自己推薦書（当院指定）
④卒業見込証明書
⑤成績証明書
- } ホームページよりダウンロード可
- ※採用決定後、研修開始時迄に①健康診断書②卒業証明書または卒業証書の写し
国家試験合格後は直ちに医籍登録済証明書（写）を提出し、医師免許証の交付
があり次第、改めてその写しを提出して下さい。
- ◎書類提出先 〒933-8555 富山県高岡市永楽町5-10
厚生連高岡病院 総務課 安田 宛
TEL 0766 (21) 3930 FAX 0766 (24) 9509
E-mail kencen@kouseiren-ta.or.jp
- ◎ 面接前の病院見学等は希望日を考慮の上、日時を調整します。

(プログラムの目的と特徴)

1. 富山県西部の基幹病院として、common diseaseを主体とした患者数が豊富であり幅広い研修を受けることが出来る。また、協力病院との連携により、専門性に特化した疾患も経験出来る。
2. 研修は、原則として、1年次に内科24週以上、救急12週以上、2年次に地域医療を4週以上研修し、1年次または2年次に外科、小児科、産婦人科、精神科はそれぞれ各4週以上研修する。残りの期間は、全ての科で選択可能とし、希望により、幅広く自由なプログラムを可能とする。
3. 内科では、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌代謝内科、腎臓・リウマチ膠原病内科、呼吸器内科、血液内科、総合診療科・感染症内科、腫瘍内科及び脳神経内科などできるだけ研修医の希望に応じたプログラムを予定します。

(処遇)

身分	常勤嘱託
給与	当院規定による。 1年次：481,500円／月額 2年次：512,000円／月額 * 別途諸手当有
諸手当	・ 通勤手当 支給有（片道2km以上） * 家賃補助受給者は対象外 ・ 当直手当 有 ・ 時間外手当 有
休暇	・ 完全週休2日制（土・日・祝日） ・ 有給休暇（1年次 10日、2年次 11日） ・ お盆休暇（8/15） ・ 年末年始休暇（12/29～1/3） ・ リフレッシュ休暇3日、ライフサポート休暇1日、 * ローテーションで2週間休暇 有 （この期間に上記休暇の一部が使用されます。）
福利厚生	・ 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険 ・ 医師賠償責任保険：病院において加入（個人保険は任意） ・ レクリエーションの機会あり

官 舎	官舎なし 住宅手当あり：35,000円（上限） *入居に係る諸経費（礼金、敷金など）は病院が負担
環 境	図書室：24時間利用可。大学病院図書室に文献請求可能 研修医室：研修医専用室、各自専用の机、書棚等完備 インターネット利用可
当 直	当直シフト(ナイトフロート) 日直、当直時には食事支給
その他	研修医教育資金制度 有：年間15万円を限度として支給 健康管理：定期健康診断、インフルエンザワクチンは病院にて無料接種

研 修 計 画

I. プログラムの原則

1. 厚生連高岡病院を基幹型臨床研修病院とする2年間の研修プログラムとし、原則として本院及び協力型臨床研修病院・施設で2年間研修する。
2. 基幹型臨床研修病院での研修期間は52週以上、臨床研修協力施設での研修期間は最大12週とする。
3. 研修方針は、原則として医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（医政発第0612004号）を準用する。
4. 研修医は、卒後臨床研修管理委員会の所属（病院長あずかり）とする。
5. 研修は、原則として、2年間を通じて内科24週以上、救急12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科及び地域医療は4週以上研修しなければならない。（医師臨床研修指導ガイドライン2022年度版より）
6. 初期臨床研修期間中のアルバイトはすべて禁止する。



II. プログラムの参加施設

1. 本院を基幹型臨床研修病院とし、協力型臨床研修病院と共同して臨床研修を行うものとする。
2. 協力型臨床研修病院は、本院と密接な関係を保ち、適切な指導力を有する者が配置されているものとする。



* 臨床研修協力病院

- ・ 富山大学附属病院
- ・ 金沢大学附属病院
- ・ 金沢医科大学病院
- ・ 富山県立中央病院（救急）
- ・ 明心会柴田病院（精神科）
- ・ 南砺市民病院（地域医療）
- ・ 金沢医科大学氷見市民病院（地域医療）
- ・ JCHO 高岡ふしき病院（地域医療）

Ⅲ. 定員

本院臨床研修医の定員は、“たすきがけ方式”を含め、1年次、2年次合わせて24名とする。

Ⅳ. 研修スケジュール

当プログラムでは原則として、以下の研修を必須と定める。

1年目 救急科（8週以上）、総合診療科、内科複合研修、外科、麻酔科（4週以上）、臨床検査（2週以上）

2年目 救急科、総合診療科、精神科、産婦人科、小児科、地域医療（4週以上）

臨床研修スケジュール（例）

1年次

週	1 ┆ 8	9 ┆ 12	13 ┆ 16	17 ┆ 20	21 ┆ 24	25 ┆ 26	27 ┆ 28	29 ┆ 30	31 ┆ 32	33 ┆ 34	35 ┆ 52
研修科目	救急科	総合診療科	内科複合	外科	麻酔科	N F	休 暇	N F	臨 床 検 査	N F	選 択 科 目

2年次

週	53 ┆ 56	57 ┆ 60	61 ┆ 64	65 ┆ 68	69 ┆ 72	73 ┆ 76	77 ┆ 78	79 ┆ 80	81 ┆ 82	83 ┆ 84	85 ┆ 86	87 ┆ 104
研修科目	救急科	総合診療科	地域医療	精神科	産婦人科	小児科	N F	休 暇	N F	選 択 科 目	N F	選 択 科 目

※NF=ナイトフロート（当直ローテーション）

Ⅴ. 研修医の募集方法

1. 応募者はすべて面接を行い、採用を決定する。
2. 期日までに応募が定員を超えた場合は、面接の採点により採用順位を決定する。
3. 採用確定後、希望により研修スケジュールの調整を行う。

院長からのメッセージ



院長 柴田 和彦

令和6年4月1日から当院の院長となった柴田です。当院は、高岡医療圏のみならず富山県西部地域における基幹病院として、救急医療、がん診療を2つの柱に高度急性期・急性期医療を提供しています。

当院は、「患者さんと職員が、信頼・安心・満足できる病院を目指します」の理念のもと、「厚生連でよかった！」と言ってもらえる病院を目指しています。臨床研修医をはじめとする次世代を担う医療人材の育成は当院の基本方針の一つであり、富山県西部地域の三次救急を担う救急科と、感染症、老年症候群など多くの問題を抱えた患者さんに全人的に対処する総合診療科は、臨床研修医の指導に重要な役割を演じています。多様で十分な数の患者さんの診療にあたることができ、充実した研修が提供できることを保証いたします。院外講師によるインタラクティブなレクチャーも頻繁に行っており、さらに深い学びを得ることができると思います。

当院が存在する高岡市は、江戸時代、加賀百万石前田家の所領であり藩祖前田利家公の嫡男利長公が築城とともに開いた町です。利長公菩提寺の国宝瑞龍寺、利長公墓所などの藩政期の遺産のほか、かつて万葉歌人・大伴家持が越中国府に赴任した伏木地区には加賀藩が保護した国宝勝興寺があり、近くの雨晴海岸からは海越しに立山連峰の大パノラマを望むことができます。富山湾の海の幸はもちろんのこと、氷見牛や高岡の地酒、西部地域で作られるワインなど、誇るべき食文化があります。娯楽施設は多くはありませんが、北陸最大級のショッピングモールが新幹線駅のすぐそばにあります。

初期研修の2年間を過ごすには最適の環境だと思います。ぜひ、初期研修先として選んでください。皆さんにお会いできる日を楽しみにお待ちしております。

研修責任者からのメッセージ



卒後臨床研修管理運営委員委員長
総合診療科・感染症内科 診療部長 狩野 恵彦

当院の初期研修プログラムは「総合力を養成し、プロフェッショナルへと導く」を指針とし、初期研修医の育成に力を注いでいます。

将来どの専門分野にすすんでも通用する基盤となる力を養うことを重視したプログラムを基本形とし、そこに各個人が好みに合わせてローテーションする科を選択できるようになっています。また将来どの専門分野にすすむか決めるにあたり、富山大学、金沢大学、金沢医科大学で「逆たすき」研修を行うことも可能です。

救急科研修では、指導熱心な救急医のもと様々な症例に触れることができる救急車の対応、病棟での患者急変時の対応、そして集中治療管理を学ぶことができます。

総合診療科研修では、米国臨床留学経験を持つ指導医のもと、内科を臓器横断的に総合的にかつ実践的に学ぶことができるだけでなく、北陸でも数少ない臨床感染症や高齢者医療に関しても実際の症例を通じて生きた知識として学ぶことができます。

富山県西部の基幹病院として、合計 33 診療科と豊富な診療科を有し、様々な症例を手厚い指導のもと経験することができます。

また当院は、院外からの招聘した有名講師による研修医レクチャー&症例検討会が頻回に行われており、富山にいながら全国でもトップレベルの医学教育を受けることができます。アメリカやイギリス出身の医師による症例検討会も頻回に行われ、英語によるコミュニケーションのみならず症例の議論もできるようにスケジュールが組まれています。当院研修修了後、北陸だけでなく、全国のどこの病院に言っても、また海外に行っても通用する医師の育成を目指し、日々プログラムを改善し続けています。

医師としての初期の2年間を、あらゆる角度からサポートする厚生連高岡病院初期研修プログラムで！是非ご検討ください。ご希望があればいつでも見学は受け付けております。



卒後臨床研修管理運営委員会副委員長
小児科部長 樋口 収

当院は富山県西部地域の公的中核病院で、診療科が合計 33 科と充実しています。経験できる症例は軽症から重症まで幅広く、研修医の先生方の様々な要望に応じた研修が可能な病院です。

特に富山県西部地区で唯一の 3 次救急を担う救命救急センターを運営する救急科、感染症対策を含めた総合診療科があることで、救急医療を中心とした総合的な診療能力を身につけることができます。また、内科系、外科系とも症例が非常に豊富であり、数多くの手術や内科専門領域の医療を、経験豊富な指導医のもとで学ぶことができます。総合的がん診療センターや新生児集中治療室での研修も他の病院にはない魅力です。

医師同士の連携は良好で、相談しやすい雰囲気が醸成されており、何でも聞ける・教えてもらえる働きやすい病院だと思います。

月 1 回は研修医とのミーティングも開かれており、研修プログラムの改善点をチェックしながら、よりよいものに変更していく努力を継続しています。病院の各部署では、研修医同士が仲良く働いていると評判です。

Common disease の対応はもちろん、すぐに診断がつかない特殊な疾患にどうアプローチしていくかを試行錯誤することができるのも、当院ならではの体験となるでしょう。

当院で研修した様々な経験を糧に、皆さんが今後の医師人生に向かって羽ばたいていかれることこそ私たちの喜びです。

学生実習や病院見学も積極的に受け入れていますので、是非、見に来てください。ともに働ける日を心待ちにしています。

卒後臨床研修医（初期研修医）の声

初期研修医 2年次
基幹型

私は学生の頃、「地元が高岡である」ということと「3次救急だから重症患者が集まってくるのだから勉強になりそう」という点からこの病院での研修を決めました。実際に研修医として働いてみると、学生の頃に想像していたより何倍もの充実した研修となっていることを実感しています。

具体的にはいわゆる市中病院は大学病院に集まる珍しい疾患というよりは一般的な疾患をみる機会が多いです。また、指導医と1対1の体制で患者さんを見ることが多いです。ですので、初期研修医で経験すべき疾患を主治医の立場として入院から退院まで管理するという経験がたくさんできます。どんなゲームやスポーツも実況動画や試合を見るだけではなく、実際にプレーしないと上達しないように、病気の管理も実際に自分が主導で検査から治療、退院までの流れを考えて管理することで初めて身につくのだと痛感しました。もちろん指導医の下で診療するので安心して患者さんに向き合うことができます。

この病院で研修して1年ほど経ちましたが、専門性に特化した珍しい疾患に詳しくなることも大切ですが、一般的な疾患をしっかり治し管理することができる力を初期研修医の期間に身に付けることの方が重要なのではないかと考えるようになりました。初期研修期間は基礎的な能力を育み医者としての基盤を築く期間だと考えるからです。しかし、大学病院のような先進医療に触れたり、指導医や学生の前で緊張しながらプレゼンしたりする経験をすることも必要です。そこで逆たすき制度を有効活用し大学病院等で勉強するとより良い研修になるのではないかと思います。

また、救急も充実しています。1年目の時は従来の当直勤務での救急対応をしていましたが、3次救急なので重症患者の初期対応をすることがしばしばありました。2021年度から当直制度からナイトフロート制度が導入され、集中的に救急対応を行う期間が設けられました。ナイトフロートの良い点は昼間はしっかり休み、夜間のみ勤務することで勤務中は脳をフル回転できることです。昼夜ずっと働くことによる体や脳の疲労を軽減するだけでなく、来院された患者さんをしっかり問診・診察し、病態をしっかりアセスメントしてよりよい医療を提供することができると思います。

研修医の意見も取り入れながら柔軟に対応していただける当院の研修は、この先ますます質の高いものにアップデートされていくと思います。

少しでも興味を持っていただけたらぜひ見学にお越しください。お待ちしております。

初期研修医 2年次 基幹型

私は医学部5年生の冬、当院の総合診療科、救急科、形成外科で選択制臨床実習をさせていただきました。お世話になったどの診療科でも、ほぼ全ての症例に対してまず研修医が診察し、その後速やかに指導医の先生に報告できるとともに改善点を指摘して頂ける環境にあること、そして疑問点や診察中の不安要素があればいつでも相談できること、看護師さんや技師さんをはじめとした医師以外の専門職の方々とも円滑な情報共有ができる環境にあり、それぞれの職種での専門的なご指導を頂けることに大変魅力を感じ、当院での初期研修を志望しました。

実際にこの1年間は各科の教育的な先生方のもと、まず患者さんの全身状態について自力で評価し、今後の治療方針を具体的に提示するという過程を数多くの症例で経験しました。そしてその科における専門的な技術だけでなく、どの診療科でも必要となる知識や、専門医に繋ぐまでの適切な初期対応等、他科に進むからこそ研修医のうちに学んでおくべきことを重点的にご指導いただきました。**common disease**や緊急性の高い疾患がより多く集まる当院だからこそ、このような3年目以降の基礎を育む研修が可能になっていると思います。

その他当院の研修の特色として、当院の経験豊富な先生方による研修医向けのレクチャーや症例検討会が週1~2回、有名な外部講師による講義が月1回開催されており、勉強の機会には大変恵まれています。そして今年から新たな試みとしてナイトフロート制度、内科複合研修、臨床検査部での研修が加わりました。ナイトフロートでは日中の研修から外れ、夜間の当直帯の救急外来での勤務を、交代で休みを取りながら2週間継続して行います。これまではどうしても当直翌日のパフォーマンスの低下が危惧されましたが、この制度の導入により長時間の連続勤務を回避することができます。加えてナイトフロート期間以外ではローテ科の研修に集中することができるという利点があります。内科複合研修では内科専修医と研修医でチームを組み、一つの科に属することなく教育的な症例を各内科の先生から振り分けていただき、複数の診療科の患者を同時期に担当します。臨床検査部では採血やエコー等の技術の習得の他、検査データの解釈の仕方や各種検査を依頼する際の注意点等について学ぶことができます。これらはまだまだ始まったばかりの制度のため、私たち研修医の意見を反映しながら今後さらにより良い研修となっていく予定です。さらに詳しく話を聞いてみたい方や、文章中の外部講師レクチャーに興味がある方は学生さんも多数参加されておりますので、是非一度当院へ見学・受講しに来てください。研修医一同お待ちしております。

令和7年度 厚生連高岡病院卒後臨床研修システム

臨床研修申請書

年 月 日

厚生連高岡病院 院長
卒後臨床研修管理委員会委員長
柴田 和彦 殿

令和7年度厚生連高岡病院卒後臨床研修システム選考試験へ出願します。おって、採用された上は法令等ならびに厚生連高岡病院及び研修協力病院の諸規則を遵守し勤務いたします。

ふりがな 氏 名		性 別
		男・女
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日生	
現 住 所	〒	
電 話 番 号		
最終学校・学部科名		
卒 業 年 月 日	平成・令和 年 月 卒業・卒業見込み	

履 歴 書

(写真欄)

1. 3ヶ月以内に撮影したもの
2. 正面、上半身、脱帽、無背景で、本人であるとはっきり確認できるもの

ふりがな 氏 名		性別	男・女
生年月日	昭和・平成	年	月 日生
現住所	〒		
電話番号			
E-mail			

年 月	学 歴(高等学校から記入)

年 月	職 歴

年 月	免 許 ・ 資 格 ・ 賞 罰

自己推薦書

*氏名：_____

志望動機、研修の目標等について記載して下さい。